

2019年4月1日

社会福祉法人おぞら会

あすはKids 管理者 三浦明雄

放課後等デイサービス評価表 集計結果 及び 評価結果に基づく改善計画について

厚生労働省から出された「放課後等デイサービスガイドラインについて」に添付されている「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」および「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」を使用して、平成30年度の評価を行った。（評価表の集計結果は別添のとおり。）

保護者向け評価表の回収率は、約63%（回答数27）で、事業者向けは80%（回答数4）であった。

保護者向け評価表結果の主な内容は、以下のとおりである。

保護者向け放課後等デイサービス評価表の集計結果（抜粋）

設問内容	①	②	③	④
子どもは通所を楽しみにしているか	27			
事業所の支援に満足しているか	26	1		
支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26		1	
放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	5	17	4	1
父母会の活動の支援や保護者会の開催により保護者同士の連携が支援されているか	17	10		
子どもや保護者からの苦情について、(中略)迅速かつ適切に対応しているか	16	10		
緊急時対応マニュアル、(中略)を策定し、保護者に周知、説明されているか	24	3		
非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	8	1	

① はい ②どちらともいえない ③いいえ ④未記入

平成30年度は以下の点を課題として取り組んだ。

1. 地域との交流を深める。
2. 保護者会に参加しやすい工夫をし、参加人数を増やす。
3. 防災マニュアルを作成するとともに、訓練のあり方を見直す。

1. について

設問項目にある学童クラブや児童館との交流は図れなかったが、日常的に近隣の公園に出かけていった。市立学校の特別支援学級に通学している子どもは、近所に知ったお友だちもいるので、公園でも一緒に遊ぶ場面が見られたが、日頃顔見知りでない子どもたちどうしの交流は難しかった。

そんな中でも、武蔵野中央公園管理事務所の計らいで、あすは Kids の子どもたちと事務所職員の方たちが一緒になって園内の花壇に花植をして、「この花壇はあすは Kids の子どもたちとつくっています」といった看板を掲げていただき、アピールすることができたし、1月には千川小学校で行われた「どんと焼き」に参加させていただき、地域の方々と交流することができた。

2. について

年に1回保護者懇談会を開催している。平成30年度は、できるだけ多くの方たちの参加を得るために、開催日を2日にして参加確認を取ったが、うち1日の参加者が1,2名であったため、結局1日の開

催となった。当日は、前年同様、武蔵野市の担当課職員や相談支援機関職員にも同席いただき、日頃の子育てについて話したいことを出席された保護者から話題提供していただき、みなさんで意見交換したりした。

3. について

新たに大規模震災を想定した「災害時初動行動マニュアル」を作成した。災害時対応マニュアルとしては決して十分なものではないが、このマニュアルに今後、避難生活時の問題などへの対応を追加していくなかで充実させていく。

訓練については、引き続き課題となっている。訓練に向けての準備と実施を計画的に実施していくこと、曜日毎に利用する子どもたちが変わるので、同じ訓練を曜日別に行う必要があることなど、今後に向けて改善していく。

その他、アンケートの中に、指摘されたことについては引き続き検討し、できるところから改善していくが、以前から出されている、「帰りの送迎」や「午前中からの開所」については、現状では以下のとおりである。

帰りの送迎については、保護者の方に「お迎えに来ていただく」ことで、その日のお子様の様子を対面でお伝えすることができるし、その中で気になることがあれば多少の意見交換もできる良さがある。つまり、私たちとしては保護者とのコミュニケーションをよりよくしていくために有効であると考えている。また、保護者の方に来ていただくことで、事業所の様子を垣間見ていただくことができるし、職員も一定の緊張感を持って業務に当たることができる。いわば、職場の「透明性」を図って行く上でも、お願いをしていきたいと考えている。

午前中の開所については、職員態勢と経営の問題でかなり困難である。お昼ご飯の提供や支援する態勢も含め、求人を出してもほとんど応募者がいない現状の中で職員を確保できる見通しはない。また、そのための人件費を捻出していくだけの経営的な余裕がない。「放課後等デイサービス」という事業所の役割から言っても適当であるかどうか慎重に考えていきたい。

以上の点も含めて、引き続き皆様からのご意見を拝聴しながら、課題解決に向けて取り組んでいく。

とりわけ、2019年度の重点課題を以下の2点とする。

1. 地域の方々と交流を深めていく。
 - ・地域の行事に積極的に参加するとともに、「千川地域福祉の会」との交流をすすめていく。
2. 火災時の訓練、大規模震災を想定した訓練と計画的に訓練を実施する。
 - ・消防署と連携して、火災発生時の避難、消火、通報訓練を実施する。
 - ・初動行動マニュアルをもとに、伝言ダイヤルの使い方、避難所までの誘導訓練等を行う。

以上